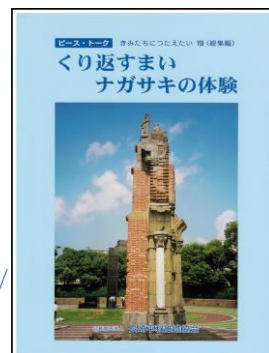
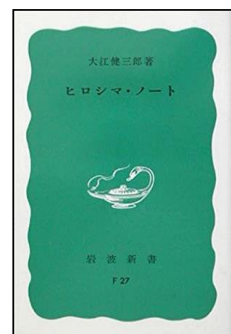


書名	著者	出版社	請求記号	本校での配架場所・コーナー
19 《原爆の図》全国巡回 占領下、100万人が観た!	岡村幸宣	新宿書房	721.9-オ	ヒロシマ・ナガサキ
1950年、丸木夫妻の手によって広島原爆投下の惨禍が描かれた。小さな「原爆の図展」はやがて日本列島各地へ燎原の火のように広がっていく。全国巡回展の知られざる実態を明らかにする。映画「原爆の図」シナリオも収録。				
20 《原爆の図》のある美術館 丸木位里、丸木俊の世界を伝える	岡村幸宣	岩波書店	721-オ	図書閲覧室
原発と原爆を一体のものとして批判していた丸木位里・丸木俊夫妻の共同制作<原爆の図>はいかに描かれたのか。2人の生い立ちと遍歴、美術史的にも再評価が進む<原爆の図>について、丸木美術館の学芸員が語る。				
21 原爆の絵 ナガサキの祈り Drawing by survivors	NHK長崎放送局編	日本放送出版協会	723-1	学習体験旅行(中3・高1)
22 はだしのゲンわたしの遺書	中沢啓治	朝日学生新聞社	726-ナ	ヒロシマ・ナガサキ
23 原爆といのち 漫画家たちの戦争(まんが)	手塚治虫ほか	金の星社	726-マ	ヒロシマ・ナガサキ
24 ナガサキの原爆を撮った男 評伝・山端庸介	青山雅英	論創社	740-7	ヒロシマ・ナガサキ
戦前に「ジーチャーサン」を開業して華々しく活躍した山端祥玉。その長男として生まれた庸介は、いかに「長崎の原爆」と出遭ったのか。父子2代のカメラマン人生の軌跡を追うドキュメント。				
25 少女たちがみつめた長崎	渡辺考	書肆侃侃房	210.75-7	ヒロシマ・ナガサキ(2冊あります)
26 わたしの心のレンズ 現場の記憶を紡ぐ(集英社インターナショナル)	大石芳野	集英社	740-オ	図書閲覧室
27 ユリイカ 第54巻 第9号 詩と批評 特集*スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ 『戦争は女の顔をしていない』『チェルノブイリの祈り』『セカンド・ハンドの時代』…耳の作家、声による文学	明石陽介編	青土社	901-1-54-9	図書閲覧室
28 被爆のマリア	田口ランディ	文藝春秋	913-7	図書閲覧室
小説。無原罪のマリア像が見つめる現代の闇とは?				
29 この子を残して アルバ文庫	永井隆	サンパウロ	914-ナ	学習体験旅行(中3・高1)
30 ナガサキノート 若手記者が聞く被爆の物語	朝日新聞長崎総局 編	朝日新聞出版	916-7	ヒロシマ・ナガサキ
31 娘よ、ここが長崎です —永井隆の遺児、茅乃の平和への祈り— くもんのノンフィクション	筒井茅乃	くもん出版	916-ツ	書庫
32 海をわたる被爆ピアノ 世の中への扉	矢川光則	講談社	916-ヤ	ヒロシマ・ナガサキ
33 ぼくは満員電車で原爆を浴びた 11歳の少年が生きぬいたヒロシマ	米澤鐵志語り 由井りょう子文	小学館	916-ヨ	ヒロシマ・ナガサキ
1945年8月6日、広島に原爆が落とされた。爆心地から750メートルの満員電車の中で被爆し、奇跡的に生き残った当時11歳の著者が、8月6日の自身の体験と、その後起こったことを語る。				
34 ヒロシマ	ジョン・ハーシー 石川欣一訳 谷本清訳 明田川融訳	法政大学出版局	936-ハ	ヒロシマ・ナガサキ
1946年の取材による6人の被爆者の体験と見聞、さらに、1985年の再訪により著した原爆症との闘い、市民としての生活・仕事・活動。「その瞬間」を負って生きた体験者たちの軌跡を記した原爆被害記録。				

特にこの夏よんでほしいものは黄色の反転にしています。(二井)



全巻そろっています。マンガコーナーにあります!



『ピーストークきみたちにつたえたいⅧ(総集編) くり返すまいナガサキの体験』長崎平和推進協会 編

被爆体験のない若者に被爆の実相を伝えるため(公財)長崎平和推進協会の活動の一つである被爆者の講話をまとめた記録集(ピーストークⅠからⅦまでの総集編)。57名の被爆の実態・思いがあふれた体験談を被爆距離ごとに記載。
<https://nabmuseum.raku-uru.jp/item-detail/886253> (2022.7.12アクセス)